

# 令和8年度事業計画

法人名 社会福祉法人<sup>恩賜</sup>財団<sup>財団</sup>神奈川県同胞援護会

所在地 横浜市西区岡野二丁目15番6号

## 法人理念

神奈川県同胞援護会は、昭和22年に認可されてから長い間社会福祉事業に携わってきました。救護施設、老人ホーム、保育所、母子生活支援施設、診療所等といった多岐にわたった施設を運営しており、いろいろな場面での福祉サービスを提供することができます。

今後より多くの社会的・個別的ニーズに対応した福祉サービスを永続的に提供するとともに、発展すべく、すべての職員が理念に基づいた福祉サービスの実践に努めます。

### 1. 人権を尊重します

私たちは、一人ひとりの立場に立ち、人としての尊厳をしっかりと守り、個別性に配慮した、柔軟で適切な対応をしていきます。

### 2. 幸せであるためのサポートをします

私たちは、一人ひとりが安心して生活し、幸せな人生を送ることができるように、専門性をもってサポートしていきます。

### 3. 地域社会と共生していきます

私たちは、地域交流、施設開放といったことはもちろんのこと、福祉の情報発信基地になり、地域社会に溶け込んだ活動をしていきます。

## I 概要

### 1. 基本方針

法人理念に基づき、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを推進します。

また、法や制度の狭間で生活に困難をきたしている方々に対し、地域の関係機関によるネットワークを活用しつつ、その課題を解決するために迅速できめ細やかな援助を行います。

《実施事業》

#### (1) 第一種社会福祉事業

- ①救護施設 … 「平塚ふじみ園」および「救護施設岡野福祉会館」の設置経営
- ②母子生活支援施設 … 「母子生活支援施設1」および「母子生活支援施設2」の設置経営
- ③養護老人ホーム … 「相模原養護老人ホーム」の設置経営
- ④特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） … 「シルバータウン相模原特別養護老人ホーム」および「パークサイド岡野ホーム」の設置経営

#### (2) 第二種社会福祉事業

- ①保育所 … 「金沢愛児園」「沼間愛児園」「衣笠愛児園」「戸塚愛児園」「桜山保育園」「上大岡ゆう保育園」「さむかわ保育園」「旭保育園」「一之宮愛児園」および「逗子なないろ保育園」の設置経営

保育所事業運営方針

- 1. 児童福祉法に基づき、子どもの人権や主体性を尊重するとともに、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的にすすめる。
- 2. 地域社会との連携を図り、すべての子育て家庭の支援をおこなう。

- ②一時預かり事業 … 「金沢愛児園」「沼間愛児園」「戸塚愛児園」「桜山保育園」「上大岡ゆう保育園」「逗子なないろ保育園」「さむかわ保育園」「旭保育園」および「一之宮愛児園」における事業運営
  - ③子育て短期支援事業 … 「母子生活支援施設2（ショートステイ）」の事業運営
  - ④老人デイサービス事業（通所介護事業） … 「シルバータウン大野台ケアセンター」および「パークサイド岡野デイサービスセンター」の事業運営
  - ⑤老人居宅介護等事業（訪問介護事業） … 「相模原養護老人ホームヘルパーステーション」および「シルバータウン大野台ケアセンター（ホームヘルプサービス）」の事業運営
  - ⑥認知症対応型老人共同生活援助事業（認知症対応型共同生活介護） … 「グループホーム相模原」の事業運営
  - ⑦老人短期入所事業 … 「相模原養護老人ホーム」「シルバータウン相模原特別養護老人ホーム」および「パークサイド岡野ホーム」の事業運営
  - ⑧老人デイサービスセンター … 「シルバータウン大野台ケアセンター」の設置経営
  - ⑨障害福祉サービス事業 … 「シルバータウン大野台ケアセンター」および「相模原ななほし」（就労継続支援B型事業所）の事業経営
  - ⑩生計困難者に対して、その住居で衣食その他日常生活必需品若しくはこれに要する金銭を与え、又は生活に関する相談に応ずる事業 … 「かながわライフサポート事業」への参加
  - ⑪特定相談支援事業 … 「相模原ななほし」の事業運営
- (3) 公益事業
- ①居宅介護支援事業 … 「シルバータウン大野台ケアセンター」および「パークサイド岡野ホーム」の事業運営
  - ②地域包括支援センター … 「シルバータウン大野台ケアセンター（大沼地域包括支援センター・大野台地域包括支援センター）」の事業運営
  - ③社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 … 「介護職員初任者研修事業」「保育士復職支援事業」および「奨学金制度」の実施

## 2. 重点目標

### ○職員の採用及び人材確保

昨年に引き続き、専用の求人サイトを運用し、求人アクセスを増やすことで直接応募、直接雇用につなげていく取り組みを行っていきます。また昨年度より外国人人材の活用も始めたところ、特に大きな問題はなく進んでおり、引き続き活用をしていきます。長期的には、奨学金制度や介護職員初任者研修、高校への出張講演を実施することで、福祉人材を増やすことを目指していきます。

### ○施設の整備等中長期計画作成について

施設の長寿命化、またリニューアル、建て替えを含めた、法人全体の中長期計画を作成します。

### ○衣笠再整備検討について

検討委員会を新たに立ち上げ、2階部分を含めてどのような方向性で整備するのか検討します。

### ○人材育成（見える化）

昨年度初任者研修のフォローアップとしての研修を初めて行いました。その研修を定期的に行うことができるように検討し、さらに別の階層の職員に対する研修についても体系化を確立していきます。また、法人役職員としての育成を進めていきます。

### ○虐待及び権利侵害の防止

虐待及び権利侵害の防止について、今年度も引き続き研修等により職員への意識付けを行い、職員の更なる資質向上を目指していきます。

#### ○地域共生

「地域社会と共生していきます」という本会の理念は、現在の地域共生社会を目指す国の方針とも合致しています。本会が公益的な取組として行っている、ライフサポート事業やぽっぽサポート同援ジャー、子ども食堂への参画等の地域福祉事業について社会へ発信するとともに、その地域に対して何が必要なのか改めて考えて、地域に根差した活動を行っていきます。

#### ○「こどもまんなか」社会の実現に向けて

こども家庭庁のこども政策を基本とし、こどもや子育てをしている人の目線で考え、すべてのこどもが、安心安全な居場所を持ち、幸せな状態で成長していけるようにサポートしていきます。今年度は日本版DBSについて、こども性暴力防止法が令和8年12月より施行されるため、法人としても適切に対応します。

#### ○ハラスメントへの対応について

カスタマーハラスメントの防止措置の義務化、求職者等へのセクシュアルハラスメントの防止措置の義務化に伴う対応を行います。

#### ○物価高騰対策について

適切な経営努力をするとともに、関係団体との協力により国へ具体的な要望をあげていきます。

#### ○平塚ふじみ園の方向性について

今年度も引き続き、平塚ふじみ園の将来の方向性について神奈川県と意見交換をしながら検討を進めていきます。

#### ○ICT活用への取り組み

今年度も業務の効率化をはかり現場職員の負担軽減を進め、利用者支援をより良く行うことができるようにさらなるICTの活用を目指していきます。

#### ○SDGsの取り組み

各施設、各部門において内容の理解を深めています。今年度も引き続き職員の理解を深めるとともに、地域社会へ積極的に発信していきます。

#### ○災害対策と事業継続計画

首都直下型地震の被害想定が見直されており、法人の事業継続計画についても、最新の状況に合わせてアップデートを行っていきます。

#### ○創立80周年記念

今年度も引き続き法人創立80周年（2027年）に向けて、準備を進めていきます。

### 3. 各事業部門における取り組み

#### 《措置事業部門》

- 救護施設は、利用者への人権意識に基づく適切な支援が行われるよう啓発していくとともに、真に支援を必要とする人を確実に受け止める「最後のセーフティネット」としての役割を担います。
- 事業の重点として、地域共生社会の実現に向けた行動指針の推進と社会への発信、利用者の人権を尊重した支援と利用者主体の個別支援の質の向上、第三者評価の受審の取り組みを行い、救護施設の「見える化」を推進します。
- 生活困窮者自立支援制度による就労支援、(就労準備支援・認定就労訓練)への取り組みを積極的に推進します。
- 入所者の意向を尊重した個別支援計画のさらなる充実を目指し、福祉事務所と情報共有を図り、より入所者の意向・ニーズを尊重した質の高い適切な支援を行っていきます。
- 就労支援・地域移行また、病院や矯正施設からの受け入れなど、関係機関との調整会議に参画を進め、期待される機能を具体的に強化・推進していきます。
- 「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」を推進し、「全社協福祉ビジョン 2025」

が目指す「ともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざし、セーフティネット機能の強化を具体的に行っていきます。

- 母子生活支援施設は、全国母子生活支援施設が掲げる「産前産後支援」「アフターケアを含む地域支援」「親子関係再構築支援」という3つの支援ができる施設として関係機関に周知し、引き続き課題のある母子世帯に活用していただけるよう提案をしていく。
- こども家庭庁の政策にある、人権ノートや意見表明など「こどもまんなか」社会の実現に向けて、サポートしていきます。子育て短期支援事業や妊産婦等生活援助事業などについても、行政と調整しながら多機能化に向けて進めていきます。
- 地域の方に、母子生活支援施設が、地域の子育てを支援していける施設であることを知っていただけるように、SNSで発信し、地域活動を共に行う活動をしていきます。
- 地域における様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、既存の制度では対応できない「地域における公益的な取り組み」を創造して推進します。
- 部門内の施設間、あるいは合同の事例発表やグループワークなど行い利用者支援等を学ぶ施設間研修を引き続き実施します。
- かながわライフサポート事業のCSWで情報提供や情報共有を目的に勉強会等の開催を検討します。

#### 《共生事業部門》

- 人材確保と人材育成
  - ・職員研修等を事業部門共通で行い、職員の質の向上を目指します。また、次世代リーダーの育成にも注力します。
  - ・特定技能の受け入れを定着させ育成に努めます。
  - ・介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得を施設として支援します。
- ICT・AI活用による現場の生産性向上
  - ・介護記録、会議録などの音声入力を活用し介護職員の直接処遇時間を確保します。
  - ・家族連絡ツールの活用し、情報共有を図ります。
  - ・ICT・AIの活用により介護職員の負担軽減と雇用の継続を目指します。
- 持続可能な運営体制の構築（物価高騰・経費削減）
  - ・利用率向上、物品購入の共同発注等、物価高騰対策を行います。また、経費削減を目的とした在庫（固定資産）管理のデジタル化等を行います。
  - ・BCP（事業継続計画）の更新と災害対策のシミュレーションを定期的に行います。
- 地域共生と顧客満足の拡大
  - ・SNSやYouTubeを活用した情報発信を強化し、透明性の高い運営を行います。
  - ・地域行事への積極的な参加を通じて、地域に根差した活動を実践します。
- 虐待防止、人権の尊重
  - ・虐待防止等、入居者の人権を尊重するための専門性の高い研修、外部研修を引き続き受講し職員への浸透を図ります。また、カスタマーハラスメント等、職員の精神面のサポートも研修等を通して行っていきます。
- 地域包括支援センター受託法人の公募
  - ・令和8年度に地域包括支援センターの公募が行われるため、令和9年度から6年間引き続き受託することを目指します。
- 相模原ななほしの事業展開
  - ・就労継続支援B型事業所の利用率が100%を超え、次に向けた事業展開の準備を進めます。要望の多い土曜日の居場所づくりとして、月2回の土曜日半日の営業を開始する予定です。
  - ・特定計画相談支援事業所について職員を1名増員し、中央区キーステーションに派遣する職員との連携を強化していきます。

## 《保育事業部門》

令和8年4月から新卒者9名、Ⅳ種、契約、パート、派遣からの切り替えを含め18名のⅡ種職員が誕生しました。その反面、やむを得ない理由により離職する職員もいます。また、復職支援では、ここ2年で1名の応募もない状態なので、内容等を検討していきます。

保育事業部門は令和8年度、以下の項目に取り組んでいきます。

### ○人材確保・定着・育成について

求人サイトの活用、横浜、寒川、横須賀地区は「保育士宿舎借り上げ支援事業」の運用を開始し、人材確保に努めるとともに、業務内容の整理・効率化を進め、職員の定着につなげていきます。

職員育成目安表については意識づけ・振り返り・目標が個々に捉えやすく、年2回の職員面談では踏み込んだ話も聞けて定着に役立っていますが、各施設の育成目安表の見直しはできなかったため再度令和8年度の目標としていきます

### ○子ども家庭庁で新たに施行される制度「日本版DBS」に向けての取り組み

令和8年12月25日制定予定の「子ども性暴力防止法」に向け、制度内容の理解やマニュアル・設備等の再確認、職員の判断力・対応力の育成等に努め、全ての子どもにとって安心安全な環境を整えていきます。その取り組みについては、保護者や地域社会へ発信します。

「見守りカメラ」を1施設で導入しますが、子どもたちの人権を守ることだけでなく、職員も守り、職場環境の改善につながることを目指します。また他の施設でも設置するかどうか検討します。

「子ども誰でも通園制度」も4月より始まります。全ての子どもが安心安全な環境の中で幸せに過ごし、成長できるようサポートしていきます。

### ○施設の中長期計画作成について

現在建て替えた園舎（沼間愛児園、戸塚愛児園）、新設園の園舎（逗子なないろ保育園）、賃貸借契約の園舎（上大岡ゆう保育園）を除く6園が老朽化し、建て替えも資材・人件費の高騰で年々難しくなっています。衣笠愛児園においては2階の診療所跡を含め、壁や軒下が爆裂し応急処置を余儀なくされ、今後の事を早急に考える必要があるため、令和8年度は検討委員会を立ち上げ、その方向性を決めていきます。

## 4. 地域における公益的な取り組み

各施設において公益的な取り組みを行っている。詳細は各施設の事業計画に掲載する。

取り組みの名称	取り組みの内容	実施地域
ライフサポート事業	要支援者に値する総合的な生活相談支援	神奈川県
認定生活困窮者訓練事業	就労に困難を抱える生活困窮者を受け入れ、その状況に応じた就労の機会を提供するとともに生活面や健康面での支援を行う	横浜市、平塚市
家族介護者支援短期入所事業	要介護者の短期的な入所の受け入れ（介護保険利用同等）	平塚市
一時避難所	災害時の周辺住民の一時避難場所	平塚市
施設設備・備品等貸し出し	陶芸室・会議室・集会室等の開放、車いすの貸し出し	横浜市、平塚市

こども食堂	参加・共催	平塚市
福祉教育	近隣小学生の受け入れ	平塚市
福祉避難所	災害時の障がい者等への避難場所の提供	横浜市
こども教室	長期休みを利用し、小学生向けのイベントを開催	横浜市
施設内学童の開放	施設内児童の友人やアフター世帯の児童の希望があれば受け入れ	相模原市
子ども食堂の地域と共催	こども食堂の企画・運営・寄贈品提供	相模原市
地域に向けた親子の居場所提供	親子が安心して過ごすことが出来る居場所の提供に地域の方も参加	相模原市
カウンセリング・相談	対象者がいれば受け入れしている。	相模原市
みまもり隊	並木小学校の登下校児を見守るサポートグループに加入し活動	相模原市
おゆずり会	施設内外で集まったりサイクルの子ども服を無償で提供	相模原市
寄贈品の提供	施設を經由してアフター世帯や近隣住民等、必要な方へ提供	相模原市
いきいき百歳体操	地域の方20名利用者5名程度毎週火曜日に1時間程度行っている。	相模原市
地域カラオケ	養護老人ホーム集会所にて地域のカラオケクラブが施設のカラオケ機器を使用してクラブ活動を行っている	相模原市
ラジオ体操	毎週火曜日10時から近隣に呼びかけ、ラジオ体操を行う。	相模原市
避難訓練	自治体と合同で避難訓練を行う。	相模原市
相模原マルシェ	11月に敷地内でマルシェを開催、模擬店等の出店で地域の方々と親睦を深める	相模原市
地域交流会	夏季(7~8月)に花火大会やお祭りなどを催し、地域の方々、子供たちと交流を図る	相模原市
介護職員初任者研修	介護職として基本的な知識と技術を身に着けるための講座を開講する。受講料はテキスト代の実費のみ。	神奈川県
よりみちカフェ	認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人などが気軽に集い、交流や相談をする場所を複数の事業所が合同で提供する。	相模原市

相模原市福祉避難所	相模原市との協定に基づき、避難所生活において特別な配慮を要する避難者を市からの要請により受け入れる。	相模原市
かのごホール貸し出し	地域のクラブ、サークル活動への貸し出しを行う。	相模原市
パークサイドカフェ	毎月第4木曜日開催。地域の居場所づくりでメインはカラオケで盛り上がる。	横浜市
スプーンカフェ	毎月第1日曜に開催。地域の栄養士の会と協力して認知症の講座なども開く。	横浜市
赤ちゃんの駅	地域の方にオムツ交換・授乳室を提供	横浜市
遊ぼう会	地域の未就園児童と保護者を対象に、同年齢児と触れ合いながら保育園体験の提供を行う。	横浜市
地域交流	地域の高齢者を園に招待し交流を図り、食事会を行う。	横浜市
子育て支援	職員による離乳食講座、地域の町内会館に職員が出向き、手遊び等を提供。子育ての悩み相談の受付、行事への招待。	横浜市
一時保育	パート就労や職業訓練（非定型）、保護者の疾病・入院（緊急）育児に伴う負担の解消（リフレッシュ）等のため保育を利用できる。	横浜市、逗子市、寒川町
南台サロン	高齢者の月1回の集まりにいろいろな年齢の園児が遊びに行き、交流する。	逗子市
沼間さん	高齢者の集まりに年2回年長児が参加し交流する。	逗子市
なかよしクラブ	地域の親子・妊産婦を対象に、育児相談・園庭開放・保育園体験、ミニランチ提供など行う。月2～3回	逗子市
にこにこくらぶ	地域の未就園児を保育園に呼び、子育て相談を受けたり、同年代の子どもたちと一緒に遊んだり保育園体験をしてもらう。	横須賀市
ほのぼのくらぶ	年長児が近隣の町内会館へいき、高齢者の方々と製作活動や手遊びなどを一緒に楽しみ交流する。年度末は、年中児が参加する。	横須賀市
施設訪問	近隣高齢者施設へ年長児が定期的に訪問し、歌や手遊びなどを一緒に楽しむ。	横須賀市、逗子市
ふれあう会	年1回日ごろの感謝の意味を込めて近隣の高齢者の方を園に招待し、2歳～5歳児が歌や遊戯を披露し、年長児とカレンダー製作をしおもてなしをする。	横須賀市

あいじえんまつり	9月に在園児、保護者、卒園児、「にこにこくらぶ」に参加してくださった方々を招待し、子どもたちの手づくり商品でお店屋さんごっこをしたり、かき氷を提供したりしみんなで楽しむ。	横須賀市
つぼみくらぶ	地域の子育て家庭を対象にクリスマス会やお楽しみイベントなどに招待	横浜市
防災イベント	炊き出し訓練、防災備品、備蓄ツアー、体験等	横浜市
園庭開放	未就園児の親子を対象に遊びの場として、園庭の解放をしている。	横浜市、横須賀市、逗子市、寒川町
とっかつながる FESTA	戸塚区内の福祉施設・活動内容などについて地域の方々に紹介するイベント	横浜市
神奈川県立高等学校出張講演	家庭科：保育の授業を選択している高校生に、保育士として培ってきたことを話す。また、高校生からの質問に応える座談会も実施。この活動に、当職員2名を派遣する。	横須賀市、逗子市、寒川町
南戸塚子育て連絡会	「繋がりが必要とする人が必要な時に繋がり先を持てるようにしたい。」という事をテーマに、地域と子育て世代を結ぶ懸け橋になるための連絡会として発足。当園としては、「公園あそび隊」を開催し、20組近い地域の方が利用された。	横浜市
5歳児交流事業	交流事業の取り組みとして計画を立て、他保育所年長児と近隣公園でドッチボールやリレー大会を実施。職員や園児同士の交流の場を持つ。	横浜市
中高生ボランティア受け入れ	近隣中学校及び横浜市からの依頼により、職場体験・ボランティア学生の受け入れ	横浜市
おたのし村	近隣の未就学園児親子が遊べる場所を提供。保育園体験や、同年齢児との関わりを楽しめる。育児についての話の聞き取りも随時実施。	逗子市
地域緑化活動	障がい者福祉サービス事業所フラワーアーク生産の花苗。県公園協会地域緑化活動の一環。多くの方が楽しめる場所や、「花育」を目的として植栽。	逗子市
サマースクール受け入れ	逗子市社協主催で、中高生を対象に体験学習を行う。	逗子市
にっこり広場	地域の保育園とケアプラザ共催の子育てサロン。0歳児～3歳児の子と保護者を対象にし、地域間交流を図り顔見知りを増やして孤立する世帯を減らすことを目的として行っている。	横浜市

子育てサロン	上大岡第1町内会子育てサロンにて年2回、離乳食指導と保育の提供をしている。	横浜市
子育て支援交流保育	未就園児を対象に園庭遊びや制作、栄養士による離乳食の試食会等、保護者のニーズに合わせて行っている。	横浜市
街の給水所	誰でも利用できる一時休息所として、飲料水等の提供を無料で行っている。(おもに、熱中症対策)	横浜市
赤ちゃん教室	初めてのお子さんと保護者の方初めての妊婦さんを対象に赤ちゃんと楽しく遊び、情報を交換する。栄養士が離乳食指導のお手伝いをする。	横浜市
保育園で遊ぼう	年間3回地域の未就園児を対象としてあそびを計画し、保育園の様子を知ってもらいながら、離乳食や育児相談を受ける。	寒川町
ファミリーサポート研修会講師	年2回ファミリーサポートセンターのまかせて会員さんに子どもを預かるポイントや遊び方等伝えています。	寒川町
小学校・中学校との交流	地域の中学生の職業体験や、交流、就学に向けて小学校の見学や交流を行う。	寒川町
高校生の職場体験	高校生の職場体験を行う	寒川町
保幼小中学校合同引き取り訓練	年に1回大規模災害を想定して合同の引き取り訓練を行う。	寒川町
一時避難所	大規模災害時には一時避難所としての機能を果たす。	寒川町
子育て支援事業	園庭開放、こあらクラブ(保育園体験)、育児相談	逗子市
ボランティア・職業体験受け入れ	地域の小学校・中学校・高校の学生ボランティア、職場体験の受け入れ	逗子市
ファミリーサポートセンター研修講師	ずしファミリーサポートセンターの支援会員に向けた研修の講師	逗子市
保育士養成校実習受け入れ	保育士養成校の実習生受け入れ	横浜市、逗子市、寒川町

## II 事業計画

### 1. 主な事業計画

#### (1) 法人組織の活動計画

社会福祉事業21拠点と公益事業2拠点(会計基準準拠)の経営母体として、各施設等の事業を円滑に運営するため、次の会議を設置します。また、法人に事務局を置き、法人経営に関する事務を行います。

#### ①評議員会

法人業務の重要事項に関する意思決定機関です。8名の評議員で構成され、会計年度終了後3か月以内に1回、または必要に応じて開催されます。評議員は、理事会の推薦に基づき評議員選任・解任委員会によって選任されます。

#### ②理事会

法人業務の執行機関であり、7名の理事および2名の監事により構成されます。理事および監事は、評議員会によって選任されます。

#### ③運営委員会

会長の補佐機関として内部理事等により業務執行上の重要事項を協議します。

法人運営上の主要項目ごとに担当委員を定め、運営委員会に適宜担当事項の状況報告と必要な協議事項を提案します。原則として毎月2回（隔週）開催します。

#### ④事業部門会議

◇措置事業部門会議 … 措置事業部門内の運営上の課題を検討協議・研究するほか、情報交換を行ない、措置事業部門全体の意志の疎通や調整を図ります。原則として、毎月1回開催します。

◇共生事業部門会議 … 共生事業部門内の運営上の課題を検討協議・研究するほか、情報交換を行ない、共生事業部門全体の意志の疎通や調整を図ります。原則として、毎月1回開催します。

◇保育事業部門会議 … 保育事業部門内の運営上の課題を検討協議・研究するほか、情報交換を行ない、保育事業部門全体の意志の疎通や調整を図ります。原則として、毎月1回開催します。

#### ⑤施設長会議

各施設の運営上の重要事項を協議するほか、情報交換および情報伝達を行い、法人全体としての意志の疎通や調整を図ります。原則として奇数月および4月・12月に開催します。

#### (2) 会計監査の実施

会計監査人による会計監査を実施し、法人経営の健全性、正確性および透明性を担保します。会計監査人が期中に各事業所の状況を確認することで、より正確な会計処理を実践します。会計監査人は、評議員会によって選任されます。

#### (3) 法務部門の強化

事業経営上の法的課題に対応するため、引き続き弁護士と顧問契約を締結し、本会の法務対応能力を強化します。

#### (4) 事業継続計画の運用

平成25年度に策定した「事業継続計画の基本方針」および「災害時事業継続対応マニュアル」を各施設において策定している防災計画と連動させ、計画の有機的な運用を図ります。重点目標で掲げたとおり、事業継続計画については常に見直しを行うよう取り組みます。

#### (5) 施設整備等事業

施設を利用される方々が、安心かつ安全にサービスの提供が受けられるよう、各施設の修繕や整備等を実施します。（実施内容は、各施設の事業計画を参照。）

#### (6) 業務管理体制の推進

「法令等の遵守に関する規程」に基づき、コンプライアンス体制の構築に向けた取り組みを推進します。また、「公益通報者保護規程」に基づき、不正行為等の早期発見と是正を図り、公共的・公益的かつ信頼性の高い経営を推進します。

#### (7) 「苦情解決体制」と「サービス評価」等の実施

「苦情解決体制」により、施設や保育所等の利用者からの苦情の適切な解決を図り、利用者等の権利を擁護するとともに福祉サービスの向上と施設等の信頼性を高めます。

第三者評価や施設のサービス評価を実施し、資質の向上とサービスの充実に努めます。

(8) 個人情報の保護および管理

「個人情報保護に関する基本方針」に基づき、利用者等の個人情報の適正かつ安全管理に努めます。平成28年から運用が開始された「個人番号」については、基本方針の策定、規程の制定、事務取扱担当者の選任等を通じて、より厳格な安全管理を実践します。

(9) 法人・施設情報の公開と発信力の強化

本会のウェブサイトを活用し、法人および各事業所の活動内容や財務状況等に関する情報について、利用者および広く市民に向けて公開します。また、事業所において実践している地域に向けた取り組みや公益的な活動については、より積極的に発信します。

独立行政法人福祉医療機構が開設する情報公開ページを活用し、本会の事業内容や財政状況を公開します。

社会福祉関係の情報、法人内の動向、職員からの投稿などを掲載した「クォーター同援」を年4回（1000部）発行し、全職員と関係機関へ配布します。また、各施設においては、利用者やその家族並びに地域に向けた施設の情報紙を定期的に発行します。

(10) 一般事業主行動計画の推進

令和6年度から新たに策定した次世代法・女性活躍推進法一体型の一般事業主行動計画（計画期間5年間）に基づき、職員の仕事と家庭の両立支援を推進するとともにより一層働きやすい職場づくりを進めます。本会では「神奈川県子ども・子育て支援推進事業者」として認証を受け（認証番号77）、登録されています。

(11) 障害者雇用の促進

障害者の雇用の促進等に関する法律に基づき、障害者雇用の実雇用率を法定雇用率（2.5%）へ引き上げるよう、障害者の雇用の促進します。

(12) 高年齢者継続雇用の確保

高年齢者雇用安定法に基づき制定された再雇用制度により、職員の定年後の雇用安定化に努めます。

(13) 福利厚生事業の実施

①永年勤続者等表彰式

本会の創立記念日（10月1日）に合わせ、永年勤続者等の職員表彰を実施します。また、全職員を対象にその資質向上を図るため、業務に係る資格取得者に記念品を贈呈します。

②定年退職者への感謝状贈呈式

定年退職者の労に報いるため、退職時に感謝状および記念品の贈呈を行います。

③職員交流事業の実施

法人内の職員間の交流と親睦を深めることを目的にレクリエーション活動等の職員交流事業を実施します。

④職員の健康管理の実施

常に質の良いサービスを提供するため、職員が健康で働くための定期的な健康診断とインフルエンザ等の予防接種を実施します。また、すべての事業所においてストレスチェック制度を導入し、精神面での健康管理を実施します。

⑤各種制度等の活用

育児休業制度や介護休業制度を始め、リフレッシュ休暇や会員制クラブ（オーナーズクラブ）の利用など、職員が健康で働きやすい職場環境の整備を進めます。

⑥職員慶弔金等の支給

「職員慶弔金等支給基準」に基づき、パートタイム職員を含めた全職員へ慶弔金等の支給を行います。

(14) 資産の運用

安定的な財務基盤を確保するため、「資金運用規程」に基づき、本部および各拠点区分の

預貯金等資産の安全かつ効率的な運用を進めます。

(15) 法人内部における研究会（委員会）および研修会

施設サービスの向上と人材育成等職員の資質向上を目的とし、次の研究会および研修会を実施します。

①新任職員研修会

新たに本会に採用された職員を対象に、法人の理念・沿革や施設の概要および労働条件に関する事項についての研修を採用時に実施します。また、社会人としての心構えや仕事の進め方の基本を習得するため、本会職員が講師を務める新任向け階層別研修を実施します。

②事務担当者研修会

確実な会計処理、透明性の高い財務管理を目標に予算編成や決算書作成等経理事務の担当者を対象とした実務研修を実施します。

③定年後の社会保険研修会

定年退職予定者を対象に今後の生活設計に役立てるため、退職後の社会保険等の事務手続き等について、社会保険労務士等の専門家による研修を実施します。

④階層別研修（平成 30 年度より実施）

新任層、中堅層、指導層、管理職層の各階層を対象として、ビジネス上の一般常識から組織経営に関する理論まで、各階層に必要と認められる知識や技能を習得するための研修体系の構築を目指します。階層別研修について改めて見直しを行い、S 2 以降の研修体系も検討の再開をしていきます。

⑤主任保育士研修会

保育所の主任保育士による情報交換や保育所運営に関する研究の場として研修を実施します。

⑥乳児・幼児リーダー研修会

乳児リーダー、幼児リーダーを対象として情報共有や保育技術の研究、後輩保育士の指導・育成方法などリーダーとしての職務遂行能力を高めるための研修を実施します。

⑦給食担当者研修会

入所施設給食担当者および保育所給食担当者を対象に給食の献立や調理方法等の研修をそれぞれ実施します。

⑧施設間交流研修（平成 19 年度より実施）

職員が他施設の事業内容を理解し、日常のサービスや質の向上に資することを目的として、入所施設または保育所間における、施設間交流研修を実施します。

⑨次世代会議

職員に法人運営や法人の組織論などを学ぶ場として設置し、職員の育成をしていきます。

⑩その他研修会

必要に応じて、専門講師等を招き研修会を実施します。

(16) 外部研修等への積極的な参加

法人経営および施設運営の資質向上と人材育成を目的として、「職員研修実施方針」に基づく「令和 8 年度職員研修実施計画書」により、階層別または職種別に行われる外部団体の主催する研修会等へ職員を積極的に派遣します。

以上